# **助成事業完了報告書**

日本財団　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　報告日付：２０１５年４月９日

 会長　笹川陽平　殿 　　　　　　　　　　 　　　事業ID：２０１３１４６８６７

|  |
| --- |
| 事業名：出張型災害再現実験教育 |
| 団体名：(一社)日本造船協力事業者団体連合会 |
| 代表者名：会長　山口謙吉 |
| TEL：０３－５５１０－３１６１ |
| FAX：０３－３５０２－５５３３ |
| 事業完了日：２０１５年３月３１日 |
| 事業費総額：42,962,477円 |
| 助成金額：34,369,000円 |

## **事業内容**

1. **出張型災害再現実験教育レギュラープログラム**
2. 開催期間：2014年6月12日～2015年2月24日（20回実施）
3. 内容：受講者のいる造船所の構内へ教育に必要な機材・設備を専用トラックで搬入し、教育を実施するもので、専門インストラクターが下記の災害再現実験教育を指導する。今年度は計17ヶ所（延べ20回）

1,044名が受講した。

1. 飛来・落下実験
	* 油圧ジャッキ使用時、当て物が飛ぶ実験
	* レバーブロック使用時フックが外れ飛ぶ実験
	* レバーブロック使用時、荷重を掛け過ぎ破損実験
2. 墜落・転落実験
* ランヤードフックの高さ（頭部より上）での実測実験
* ランヤードフックの高さ（肩の高さ）での衝撃実験
1. 切れ・擦れ実験
* 薄鋼板穴あけ時、振り回される実験
* サンダーで切削時、砥石が食い込み振り回される実験
1. 爆発・火災実験
* 狭い空間での溶接時、ジンクスプレー使用による危険実験
* 切断作業時、着火不良による爆発実験
1. 火傷実験
* 空気中と酸素中内での綿生地の燃焼実験
* 作業服（綿生地）と下着（化繊生地）の燃焼実験
1. 換気実験
* 塗装作業における溶剤の燃焼実験
* 船内塗装作業時の換気実験
1. 玉掛け実験
* 吊り角度0度と120度時のワイヤー張力実験
* 吊り角度0度と120度時のロープ切断実験
1. その他
* 塗装スプレーガンの取扱い不良による危険実験
1. 保護具の実験
* 防じんマスク、保護帽、安全帯、安全靴、保護めがね、遮光保護具、セフティブロック、水平親綱

※①～⑨の所要時間　　3.5時間

1. 対象会員名・実施場所・日付・受講者数
2. 旭洋造船株式会社協力会　：　山口県下関市御新町9-3

6月12日(木)　受講者54名

1. ジャパンマリンユナイテッド横浜事業所磯子協力会　：　神奈川県横浜市磯子区新杉田町12

6月26日(木) ・27日(金)　受講者128名

1. 臼杵造船事業協同組合　：　大分県臼杵市大字板知屋1-12

7月2日(水)・3日(木)　受講者79名

1. 東北ドック鉄工株式会社　：　宮城県塩釜市北浜4-14-1

7月9日(水)　受講者28名

1. 協同組合函館どつく室蘭協力会　：　北海道室蘭市祝津町2-144

8月26日(火)　受講者42名

1. 函館どつく安全衛生協力会　：　北海道函館市弁天町20-3

8月28日(木)　受講者37名

1. 名村造船伊万里協力会　：　佐賀県伊万里市黒川町塩屋5-1

9月11日(木)　受講者58名

1. ジャパンマリンユナイテッド鶴見協力会　：　神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1

9月17日(水)　受講者54名

1. トヨシップ事業協同組合　：　愛知県豊橋市明海町22

10月4日(土)　受講者77名

1. ジャパンマリンユナイテッド舞鶴事業協同組合　：　京都府舞鶴市字余部下1180

10月9日(木)・10日(金) 受講者117名

1. SSK協力事業協同組合　：　長崎県佐世保市立神町22

10月15日(水) 受講者70名

1. 株式会社ヤマニシ　：　宮城県石巻市西浜町1-2

10月30日(木) 受講者29名

1. 因島鉄工業団地協同組合　：　広島県尾道市因島重井町474-1

 11月13日(木)　受講者58名

1. 長崎県金属工業協同組合　：　長崎県諫早市貝津町2148-2

 11月19日(水)　受講者45名

1. 福岡造船株式会社長崎協力会　：　長崎県長崎市深堀町1-1-4

11月20日(木)　受講者47名

1. 協同組合JMU呉協力会　：　広島県呉市光町5-17

1月29日(木)　受講者53名

1. 大造協力事業協同組合　：　長崎県西海市大島町1605-1

2月24日(火)　受講者68名

## **事業目標の達成状況**

* **出張型災害再現実験教育**

**（１）労働災害の抑止効果**

当事業は2011年度まで実施していた出張型災害疑似体験教育の後継出張型体感型教育として、造船業向けに開発したもので、現場で繰り返し起こる災害の型を造船業に長期間携わった安全の専門家がセレクトし、実験器具や実験方法について監修した内容となっている。　２０１２年度からの３年間での合計受講者は３４５０名を数え、斬新な教育内容は受講会員から高い評価を受けた。災害発生率においても当教育受講者は度数率・強度率が非常に低く抑えられ、労働災害の抑止効果が数値で実証されている。

　※度数率とは、 100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

　※強度率」とは、 1,000延実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。

**（２）当会の教育の高い信頼性**

当事業のプログラムは体験型教育のエキスパートである「新日鉄住金マネジメント」と造船業の安全のプロである「安全衛生アドバイザー鈴木滿氏」による、安全教育のコラボレーションが実現したものである。さらに、災害から身を守る最後の砦である「安全保護具」についての実験教育を、熟練した保護具インストラクターに担当させて完成度の高い教育を実現した。

**（３）オリジナリティのあるプログラムによる認知度の向上**

当事業の教育プログラムは完全なオリジナルであり、インパクトの強い実験教育の内容は、安全専門誌や業界紙に数多く取り上げられるなど反響は絶大である。また、近年の当会が実施する体験型教育の影響により、体験型施設を敷地内に設ける「元請造船所」や「地域造船技能センター」等の類似施設が多く見られるようになった。このように体験型教育は造船業界の現場安全教育の主力となりつつあり、当事業の波及効果は絶大である。そうしたなかで当会は年々内容を追加・修正を繰り返しながら体験型教育を実施してきた。このような事業実績より当会は体感型教育について先駆者的な評価を得ており、業界における団体としての認知度の向上に大きく貢献している。

## **事業成果物**

1. **出張型災害再現実験教育レギュラープログラム**
* カリキュラム
* 実施写真
* 2013年度出張型災害再現実験教育の成果
* 2014年度パンフレット**（別添）**

※各回の内容は写真付きでＣＡＮＰＡＮブログ「安全ひろば」で公開済み